



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆都会にポツンと一軒家◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、これまで神奈中情報通信の第71号と第105号で登場したことがあります大学の同級生でゴルフ仲間の菅原(すがはら)君の住まいのことで、とっても珍しい話を聞いたので、それをご紹介しますと思います。

どんな話かと言いますと、地上げです。(※悪質な地上げ屋ではありません)

菅原君の家は東京の江東区にありました。もともと学生時代は町田に住んでいたのですが、結婚を機に生まれ育った江東区大島の実家に移り住み、そして、今から20年ほど前に家を建て替えて、そのまま住んでいました。

ちなみに、その場所には自営業だったお父さんの小さな工場と言いますか、倉庫もある場所だったのですが、実はその土地が、菅原家のものではなくて、近くに住む大家さんのものだったのです。いわゆる借地です。

菅原君は借地であることをもちろん知っていましたので、今から20年前に家を建て替える際、この土地を売ってほしいと大家さんをお願いしたのですが、ただ、大家さんであるおばあさんから、お父さんのときからの付き合いだし、何も問題がないんだからこのままでいいじゃないと言われ、売ってもらうことができなかったようなのです。その後も、タイミングを見ては売ってほしいと伝えるも、のらりくらりとかわされてしまい、借地のままずっときてしまったようなのです。



そして、今から数年前に事態が動き出すことになりました。実はその大家さんだったおばあさんが亡くなってしまったのです。しかも、そのおばあさんには子どもがおらず、ご主人もご主人のご兄弟も皆すでに亡くなられていて、いわゆる相続人がおらず、結果、菅原君の家が建っていたその土地の所有者が、国に移ることに (2枚目へ→)

(続き→) なったのです。土地の権利が国に移ったあと、今度は競売にかけられて、不動産業者が購入したのですが、実はその大家さんが持っていた土地というのが、菅原君の家の土地と合わせると、マンションが建てられる広さがあったそうなのです。周辺の土地を全て購入した不動産業者が、菅原君の家の周りを全て更地にし、菅原君の家はポツンと一軒家状態に。

そして、菅原君のところに「借地権を売ってもらえませんか？」と地上げの交渉に来たというのです。

菅原君と菅原君の奥様は、もう60代半ばで、住み慣れたこの場所、思い入れのあるこの家から移り住む気持ちは一切なかったようなのですが、家族会議をすることにしようです。

菅原君には2人の息子さんがいます。ただ、2人ともすでに自立して家を出ています。また、2人はこの土地にこだわりはなく、戻ってくるつもりもないとのことで、となると、この広い家に菅原君と奥様の2人で今後も住み続けるのが妥当なのだろうか？と、老後もこの家である必要があるのだろうか？と、何度も話し合いをして、最終的に手放すことを決断。不動産業者に借地権を売却し、その売却で得た資金で別の場所にマンションを購入。引越しをすることになったとのことでした。

世の中、いろんなことがあるんだなああと、菅原君の話聞きながらふと自分の場合はどうだろうか？と思いました。土地の所有者は米山家ですが、我が家は2世帯住宅。1階と2階が同じ間取りで、上にも下にもキッチン、お風呂、トイレがあります。ただ、お袋は私たち夫婦より先にいなくなるでしょうし、娘もお嫁に行くでしょうから、そうなったときに、私と妻の2人だけで、ここに住み続けるのが妥当なのか。住むにはとてもものどかで良い場所ですが、交通の便は悪い。妻とはまだ話し合いはしていませんが、そろそろそういうことも考えないといけない時期にきているのだなああと、菅原君の話からそんなことを思いました。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山